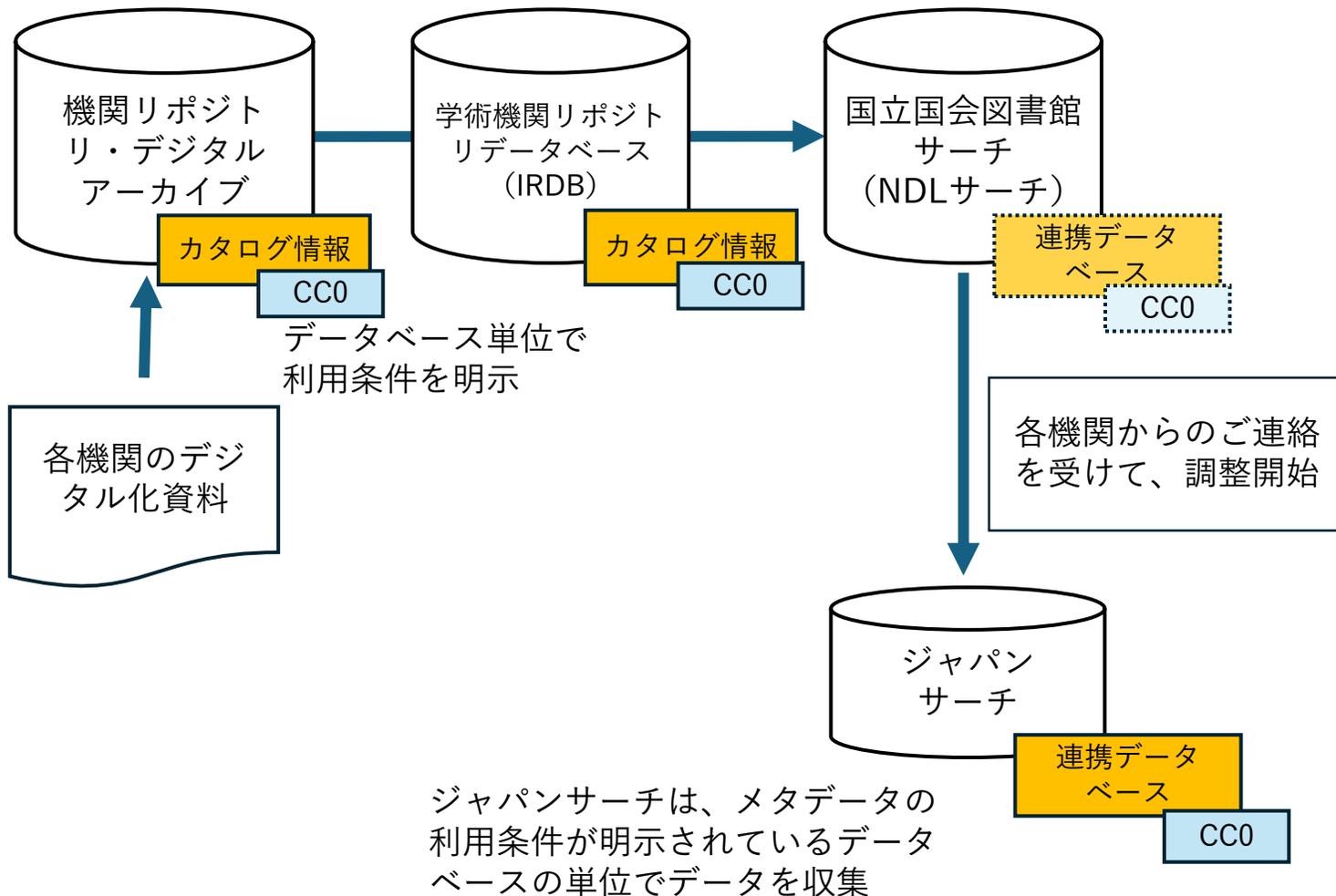


# IRDB経由でのジャパンサーチ連携の流れ

2026年3月2日更新

# IRDB経由でのジャパンサーチ連携の流れの全体像



- IRDBへの登録時にデータベースそのものの情報である「カタログ情報」や、メタデータの二次利用条件を登録いただくことで、ジャパンサーチへのデータ連携が可能になります。  
※従来は、IRDB全体としての利用条件が明示されないという問題があったため、IRDBのデータを全体としてジャパンサーチに連携することができませんでした。
- カタログ情報を登録いただくと、その単位で「連携データベース」としての情報をNDLサーチからジャパンサーチへ登録します。
- IRDBへ登録されたデータはNDLサーチへ自動収集されますが、ジャパンサーチに連携するためにはご連絡いただく必要があります。(p.8参照)

## 連携メタデータの調整

---

- ジャパンサーチへの連携のためには、基本的にJPCOARスキーマVersion 2.0以降のバージョンに対応いただく必要があります。
- 対応が難しいデータ項目があるような場合、個別にご相談いただければ、データ格納時に各データベースに対応した個別条件の調整も可能です。

※連携したいデータベースのメタデータ項目を、JPCOARスキーマVersion 2.0でどのように出力するかという点については、以下のページもご参照ください。

- メタデータ流通ガイドライン <https://ndlsearch.ndl.go.jp/guideline>
- JPCOARスキーマガイドライン <https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja>

# JPCOARスキーマver.2.0について

JPCOARスキーマは、学術情報資源のメタデータ流通に用いられる規格。Version 2.0より、デジタルアーカイブの利活用可能なメタデータ流通に必要とされるメタデータ項目が新規に採用された。

## デジタルアーカイブに関する対応項目一覧

拡張項目	
ヨミ	ローマ字ヨミの記入に対応
作成者	役割表示の記入に対応
日付	W3CDTFの形式による記入、範囲指定による記入に対応
本文URL	IIIFマニフェストURIの記入に対応
タイトル、主題、権利情報、内容記述	コレクション情報のメタデータ入力に対応
新設項目	
・新設項目： 出版者注記、出版地、出版地（国コード）、リテラルな日付、版、部編名、原文の言語、 大きさ・容量等、記録形式、所蔵機関、所蔵機関識別子、所蔵機関名	
・コレクション情報のメタデータ入力に対応する新設項目： 提供機関名、識別子、ライセンス、代表画像	

また、デジタルアーカイブのメタデータ流通を鑑みて、アイテムの集合体としてのコレクション単位のメタデータ定義が導入された（次スライドへ）

JPCOAR Newsletter: CoCOAR; 15号 2022-09-29公開 <https://doi.org/10.34477/0002000218>  
「JPCOARスキーマVersion 2.0リリースに向けて」より

# デジタルアーカイブの構造

## a) データベース情報 =カタログ

https://www.lib.xxx.ac.jp/archives/

〇〇機関デジタルアーカイブ

〇〇機関デジタルアーカイブはnn年にxxを目的として構築され・・・ (内容記述)

検索欄

**コレクション**

- 古地図 コレクション 18世紀の地図...
- 写真 アーカイブ 服飾関係の...
- 〇〇記念 コレクション xx収集の貴重...
- 新聞 アーカイブ xx所蔵の...

当サイトのコンテンツはCC... (ライセンス)

## b) コレクション情報 =データセットシリーズ

https://www.lib.xxx.ac.jp/archives/collections/aaa

〇〇機関デジタルアーカイブ

〇〇記念コレクション

〇〇記念コレクションはxx氏が収集した18-19世紀の貴重書コレクション。・・・ (内容記述)

nnn items | Type ▼ | License ▼ | Language ▼

	<u>タイトル</u> 作成者, 日付, 資源タイプ, 出版者...

## c) アイテム単位 =データセット

https://www.lib.xxx.ac.jp/archives/collections/aaa/nnn

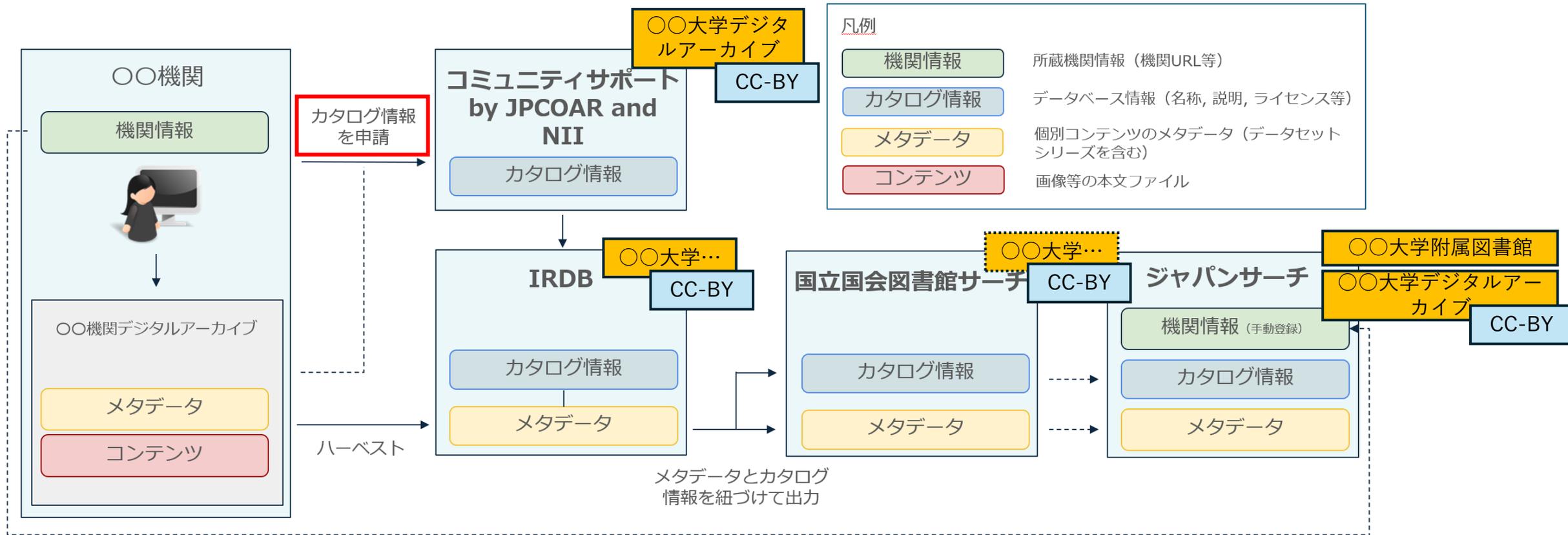
CC BY

タイトル	.....
作成者	.....
日付	.....
資源タイプ	.....
出版者	.....
大きさ	.....
物理的形態	.....

デジタルアーカイブ × メタデータ勉強会 #4 「JPCOARスキーマ概要説明」  
[https://www.nii.ac.jp/event/upload/libfair2024\\_forum6-4\\_2.pdf](https://www.nii.ac.jp/event/upload/libfair2024_forum6-4_2.pdf)

# カタログ情報の流通（1）

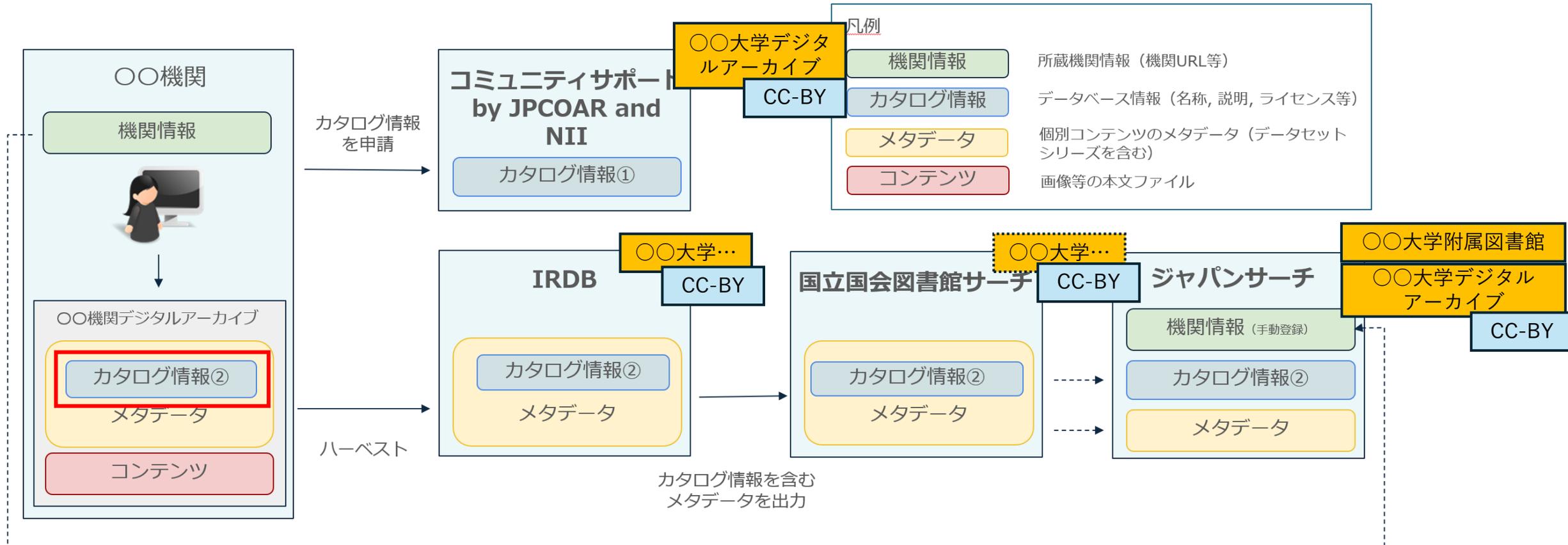
- 流通させたいデータベースの単位でカタログ情報を登録



カタログ情報をIRDBに申請すると、個々のアイテムのメタデータにカタログ情報を登録しなくても、IRDB側でカタログ情報とメタデータを紐づけてNDLサーチに連携することができます。

# カタログ情報の流通 (2)

- 流通させたいアイテムの単位でカタログ情報を登録



IRDBに申請したカタログ情報と異なるカタログ情報をアイテムに登録した場合、アイテム単位のカタログ情報の方がNDLサーチに連携されます。

# 連携にあたっての留意点

---

1. IRDBに申請できるカタログ情報は1データベースにつき1つのみです。
2. カタログ情報を申請せず、個々のアイテムのメタデータにカタログ情報を登録することによりIRDBにカタログ情報を連携することも可能です。申請されたカタログ情報とアイテムのメタデータに含まれるカタログ情報が異なる場合、アイテム単位のカタログ情報がNDLサーチに連携されます。
3. ジャパンサーチの連携要件に沿ったもののみが連携されます。  
IRDBを経由してNDLサーチに格納されたアイテムが、ジャパンサーチの連携要件に沿っているか確認したのち、連携を開始します。
  - カタログ情報を登録いただいたものが、必ずしもすべてジャパンサーチの連携対象とはならない点、ご了承ください。
  - ジャパンサーチの連携要件は以下のコレクションポリシーをご覧ください。  
<https://jpsearch.go.jp/cooperation>

# 申請や許諾文書について

---

## 1. 個別データベース→IRDB【申請可能】

- 下記サイトよりカタログ情報のIRDBへの登録を申請いただけます。
- [https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/application/irdb/irdb\\_catalog](https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/application/irdb/irdb_catalog)

## 2. 個別データベース(→IRDB)→NDLサーチ【申請不要】

- IRDB→NDLサーチ間の連携許諾に準ずるため、事前の申請や文書取り交わしは不要です。

## 3. DA(→IRDB→NDLサーチ)→ジャパンサーチ【要連絡】

- ジャパンサーチ連携のご希望がある旨をNDLサーチ担当にご一報ください。
- NDLお問合せフォーム (<https://form2.ndl.go.jp/form/pub/ndl01/contact>) にて「国立国会図書館サーチの技術仕様」を選択してご連絡いただければNDLサーチ担当が確認いたします。
- ギャラリー等、ジャパンサーチの機能の利用希望がある場合、NDLと許諾文書の取り交わしをさせていただきます。

カタログ情報の登録のポイント

# カタログ情報登録のポイント（1）

- カタログ情報に登録された値は、ジャパンサーチ上で各データベースのページ、連携機関のページを作成するために使用されます。
- ジャパンサーチは、国内外の利用者を想定したサイトであるため、日本語だけでなく、英語での記述も重要なものとなります。

No.	項目名	説明
#1	タイトル (日・英・ヨミ)	ジャパンサーチにおいて、データベースの名称として使用されます。 <b>登録必須</b> 。
#2	内容記述 (日・英)	ジャパンサーチにおいて、データベースの説明文として使用されます。 <b>登録必須</b> 。日本語については80-200字程度、英語については40-100words程度が目安です。
#3	提供機関名 (日・英・ヨミ)	ジャパンサーチにおいて、連携機関のページ、資料の所蔵・所在の名称として使用されます。 <b>登録必須</b> 。デジタルアーカイブが提供するデジタルコンテンツの原資料の所蔵・所在が、デジタルアーカイブの提供機関とは異なることがある場合、NDLサーチ担当にご相談ください。

## カタログ情報の登録のポイント（2）

No.	項目名	説明
#4	ライセンス（メタデータ）	ジャパンサーチは、連携データベースに対して、メタデータの二次利用条件を原則CC0（難しい場合はCC BY）と設定することを求めています（ジャパンサーチのコレクションポリシーを参照）。データベースのページにおいて、メタデータの二次利用条件として表示されます。 <b>登録必須。</b>
#5	ライセンス（サムネイル）	ジャパンサーチに作成されるデータベースのページにおいて、サムネイル画像の二次利用条件として表示されます。登録がない場合、サムネイル画像の利用条件はデジタルコンテンツの利用条件に準ずると表示いたします。
#6	ライセンス（ファイル）	ジャパンサーチに作成されるデータベースのページ、各メタデータの書誌詳細画面において、デジタルコンテンツの利用条件として表示されます。対応するコードのアイコンや説明文により利用条件を表示いたします。 <b>登録必須。</b> <a href="https://jpsearch.go.jp/policy/available-rights-statements">https://jpsearch.go.jp/policy/available-rights-statements</a> ただし、データベースやコレクションに対して一律でコンテンツの二次利用条件を設定できない場合は、本項目は空欄とし、各メタデータの権利情報としてコンテンツの二次利用条件をご登録ください（この場合、各メタデータのコンテンツの権利情報は <b>登録必須</b> ）。

## カタログ情報の登録のポイント（3）

No.	項目名	説明
#7	権利情報	ジャパンサーチに作成されるデータベースのページ、各メタデータの書誌詳細画面において、デジタルコンテンツの利用条件の「資料固有の条件」として、文字列やリンクを表示いたします。コンテンツの権利に関して利用者が確認すべき連携機関固有のサイトや情報をこちらにご登録ください。ライセンス（ファイル）がPDMなどであるために説明すべき権利情報がない場合以外は <b>登録必須</b> 。
#8	アクセス権	ジャパンサーチに作成されるデータベースのページにおいて、コンテンツの公開状態として表示されます。ただし、ジャパンサーチは連携データベースに対して、原則としてログイン不要でインターネット上で公開されたコンテンツを有することを求めています。 <b>登録がない場合、ウェブ公開と表示させていただきます</b> 。一部にメタデータのみのデータがある場合、ウェブ公開されていないデータが含まれる場合は、NDLサーチ担当にご相談ください。
#9	識別子	ジャパンサーチに作成されるデータベースのページから、オリジナルのデータベースのページに遷移するリンク先として使用されます。 <b>登録必須</b> 。
#10	代表画像	ジャパンサーチに作成されるデータベースのページの画像として使用されます。 <b>登録必須</b> 。

# NDL担当から確認させていただく情報

No.	項目名	説明
#11	組織の代表画像	ジャパンサーチに作成される連携機関のページの代表画像として用いられます。 <b>登録必須</b> 。URLのご提示、画像ファイルの送付のどちらでも問題ありません。
#12	組織サイトのURL	ジャパンサーチに作成される連携機関ページにリンクとして表示します。
#13	組織の説明文(日・英)	ジャパンサーチにおいて、連携機関の説明文として使用されます。 <b>登録必須</b> 。日本語については200字程度、英語については100words程度が目安です。
#14	ジャパンサーチ組織用アカウントの可否	ジャパンサーチにおいて組織用アカウントを作成すると、ジャパンサーチ上に自機関や他機関のメタデータを使用したギャラリーを作成したり、自機関のデータベースのアクセス統計を確認したりすることができるようになります。組織用アカウントの作成にあたっては、NDLとの許諾文書を取り交わしていただく必要があります(組織用アカウントが不要な場合は文書の取り交わしは不要です)。

- その他、ジャパンサーチ上でのよりよい表示のため、連携いただいているメタデータについて調整させていただく場合がございます。

# 登録後の表示イメージ（連携データベースのページ）



#10

※〇〇大学デジタルアーカイブの画像

〇〇大学デジタルアーカイブ

#1

データベースを開く

書籍等

国立国会図書館

〇〇大学デジタルアーカイブは△△に関する資料を公開しています〜。

#2

## データについて



メタデータ件数 (2025/12/04更新)

4,681,008



メタデータの利用条件 (API取得可能)

CC BY4.0で利用できます。詳細は以下のリンク先をご覧ください。

<https://www.ndl.go.jp/jp/use/metadata/index.html>

個別のメタデータに表示を行う必要はありません。



サムネイル画像の利用条件

サムネイル画像を含んでいるデジタルコンテンツの利用条件と同じです。



コンテンツの公開

コンテンツによってアクセス可能性が異なる

#8

#9



デジタルコンテンツの利用条件  
自由に利用可

#6



PDM

教育

非商用

商用



#11

※組織の代表画像

〇〇大学附属図書館

#3

〇〇大学に関する説明文

#13

つなぎ役機関



国立国会図書館

国立国会図書館は、国会に属する唯一の国立の図書館です。国内外の資料・情報を広く収集・保存して、知識・文化の基盤となり、国会の活動を補佐するとともに、行政・司法及び国民に図書館サービスを提供しています。

日本のデジタルアーカイブを横断検索

JAPAN SEARCH

<https://jpsearch.go.jp/database>